

富士山を世界文化遺産に！



富士山頂では、多くの人々が思わず御来光に手を合わせます（富士山頂・成就岳）

登録推薦書原案

7月提出に向けて…

静岡県では、山梨県や関係市町等と連携し、富士山の文化や自然環境、景観を保全し、人類共通の財産として後世に継承していくため、富士山の世界文化遺産登録に向けた取組を進めてきました。

現在、登録推薦書原案については、概ね作業を完了し、ユネスコに申請するための英訳作業を行っております。

また、包括的保存管理計画案については、文化庁の指導のもと、環境省、林野庁等関係機関との協議を重ね、最終調整の段階に入っています。

今後は、関係市町との協議のほか、静岡県・山梨県学術委員会、二県学術委員会、両県合同会議での審議を経て、7月末までに登録推薦書原案を文化庁へ提出する予定で準備を進めております。

News List

- ◎富士山の登録推薦書原案をいよいよ文化庁に提出へ
- ◎「平泉」「小笠原諸島」、世界遺産登録決定
- ◎葦山反射炉、世界文化遺産構成資産候補へ
- ◎「37705」プロジェクト『始動！』
- ◎「美しい富士山を未来へつなぐ会」通信

富士山の登録推薦書原案をいよいよ文化庁に提出へ

静岡・山梨両県は、昨年7月、構成資産の国文化財指定に必要な同意取得作業が遅れている等の理由により、文化庁への登録推薦書原案の提出を1年先送りとなりました。

その後、両県及び関係市町村は、構成資産の国文化財指定作業を進めるとともに、推薦書原案の内容精査を行いました。また、広範囲に及ぶ富士山を適切に保存管理するための法令を所管する関係省庁の合意を得て、包括的保存管理計画の再検討を進めてきました。

その結果、推薦書原案については、概ね作業を終了し、現在英訳作業を行っています。包括的保存管理計画についても、文化庁、環境省、林野庁等の関係機関と最終調整に入っています。

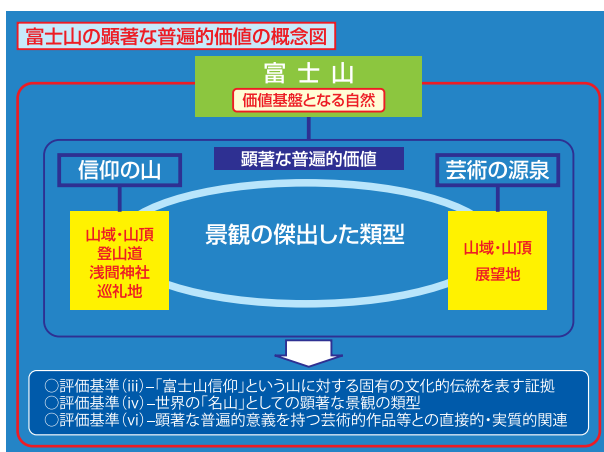
それでは、推薦書原案の概要について、紹介します。

富士山の推薦コンセプト

登録推薦書では、推薦される資産の持つ価値（世界にとって重要な意味のある「顕著な普遍的価値」）や、その価値を証明する上で不可欠な構成資産の概要、保存管理の方法などを記述する必要があります。

富士山は、美しく荘厳な姿を基盤として、様々な信仰や芸術を生み出した「名

山」として世界に類例を見ない価値を持っています。その概念を図示すると、左のコンセプト図のようになります。



信仰の山

富士山の山体とその周辺の地域には、宗教的な儀礼・活動の場となった神社、登山道と関連遺跡群、霊地・巡礼地となった風穴・湧水地・湖沼などが残され、そこでの儀礼や活動を通じて、人々の生活の中に富士山に対する信仰の核心が継承されています。

また、富士山信仰の中で山体・樹叢・湖沼などの自然環境を基盤とし、体系化

された神社等の建築群・登山道・宗教施設を経て山頂に参詣する宗教的な儀礼・活動が成立しました。これが発展し、18〜19世紀にかけて富士山は大規模な大衆による宗教的登山及びその体系の典型的存在となり、この体系の核心は現代の登山に継承されています。富士山は、現在でもこうした文化的伝統に基づく神聖な「名山」として知られています。



富士宮口登山道8合目付近にある鳥居

芸術の源泉

富士山と周辺の特徴的な自然が醸成する美しさと崇高さは、信仰上の景観とし

て捉えられただけでなく、古くから様々な芸術活動の母胎となり、『万葉集』をはじめとする日本固有の和歌や俳句、絵画などの対象として日本人に良く知られていました。特に富士山を題材にした「浮世絵」などは海外にも広く知られ、近現代の西洋芸術に様々な影響を与えてきました。さらに、これらの芸術と富士山やその景観美を紹介した外国人の著作を通じて、富士山が一つの国の文化を代表する「名山」であることは国際的に認知されるに至りました。

今後、静岡県・山梨県学術委員会及び二県学術委員会、富士山世界文化遺産両県合同会議の審議を経て、推薦書原案を7月末までに文化庁へ提出する予定です。



三保松原から富士山を望む

「平泉」「小笠原諸島」、世界遺産登録決定

6月19日から29日にかけて、パリ（フランス）で開催されていた第35回世界遺産委員会において、日本政府がユネスコへ推薦していた「平泉・仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」を世界文化遺産に、「小笠原諸島」を世界自然遺産に記載することが決定されました。

平泉は、12世紀、日本の中央政権の支配領域と東北地方やその北方の地域との活発な交易活動を基盤としつつ、東北地方に造営された政治・行政上の拠点です。この地域においては、浄土思想に基づき、現世における仏国土（浄土）の空間的な表現を目的として中尊寺などの建築群、毛越寺や観自在王院跡などの浄土庭園群が造営されました。

平泉は、平成18年12月に「平泉・浄土思想を基調とする文化的景観」として推薦されましたが、平成20年の第32回世界遺産委員会で、「記載延期」と決議され、構成資産の見直しを行った上での再挑戦となりました。今回、ユネスコの諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）は、構成資産の一つであった「柳之御所遺跡」を除外することを条件に「記載」勧告を行いました。これを受け、日本政府は地元と協議の上、柳之御所遺跡を構成資産から除外し、今回の記載決議となりました。

小笠原諸島は、約4800〜4400

万年前に形成された島弧火山で、成立以来、どの島も大陸と地続きになったことがない海洋島です。このため、小笠原諸島の生物は、独自の進化の過程で多くの固有種を生み出し、今なお進行中の進化の過程を見ることができるとなどが評価されました。また、この地域では、海洋プレート同士の沈み込み帯における島弧火山の形成過程の初期段階の記録を、陸上で見ることが出来る世界で唯一の場所としても評価されました。

今回の両資産の登録により、日本の世界遺産は、文化遺産が12件、自然遺産が4件の合わせて16件となりました。



イコモス調査員(左から2人目)による現地調査(平泉)

葦山反射炉、世界文化遺産構成資産候補へ

葦山反射炉（伊豆の国市）が、世界文化遺産登録を目指している「九州・山口の近代化産業遺産群」（以下「同遺産群」）の構成資産候補に追加されることとなり、6月6日に下関市で開催された、鹿児島県など7県12市で構成される「同遺産群」世界遺産登録推進協議会（以下「同協議会」）総会で報告されました。

日本の近代化は、幕末における西洋技術の導入以降、非西洋地域で初めて、かつ、きわめて短期間のうちに飛躍的な発展を遂げたという点において、世界的にも特筆されるべきものです。この飛躍的発展の過程において、大きな原動力となったのが九州・山口に所在する近代化産業遺産群です。

「同遺産群」は、「幕末から明治期における飛躍的な日本の近代化」というストーリーに沿って、九州・山口の各地域に所在する複数の産業遺産を一つの遺産群にまとめて、世界文化遺産に登録しようとするものです。平成21年1月に、日本政府が今後世界遺産に推薦する世界遺産暫定一覧表に記載されました。

葦山反射炉について



葦山反射炉

は、平成23年2月に開催された国内外の委員からなる専門家委員会で、西南日本の雄藩によって開発された反射炉の技術と密接な関係があり、世界において最も完全な形で残っている実例であることから、「同遺産群」の構成資産候補とすべきとの意見がまとまりました。

この意見を受け、同協議会総会で、葦山反射炉を構成資産候補とすることが報告されました。これにより、同遺産群の構成資産候補は30件となりました。

葦山反射炉は、江戸時代末に、葦山代官江川英龍の建言により築造された、現存する日本最古の反射炉です。安政元年（1854）に起工され、途中で英龍が死去したため、跡を継いだその子英敏が安政4（1857）年に完成させたもので、大正11年、国の史跡に指定されました。

『3776らぶふじ』プロジェクト「始動！」

県では、今年度富士山世界文化遺産登録に向け、更に気運を盛り上げ、多くの皆様に富士山の文化的価値について理解を深めていただくことを目的として『3776らぶふじ』プロジェクトを6月から実施しています。

この事業は「富士山」の構成資産である周辺の文化財をラジオ番組のコーナーでリポート紹介し、番組と連携したPR活動を行う事業と、参加者自ら構成資産を巡り、理解を深めていただくスタンプラリー事業からなり、両者を一体的に実施していきます。

是非、多くの皆様に、富士山とその周辺の文化財を実際に訪れていただき、富士山と信仰や芸術との関わりについて感じていただきたいと思います。

3776らぶふじプロジェクト
ホームページ
<http://www.3776fuji.net>
ラジオは、6月14日から第2、第4火曜日の13:20からSBSラジオ「らぶらじ」内のコーナーで放送



富士川楽座での放送の様子

「美しい富士山を未来へつなぐ会」通信

本年2月23日（富士山の日）に結成された「美しい富士山を未来へつなぐ会」。富士山世界文化遺産登録への賛同と富士山を未来へ継承する想いを込めたメッセージの募集活動を開始しました。

県では、つなぐ会の活動に全面的に協力し、連携して募集活動を展開しています。

富士山を応援してくださる企業や団体の皆様方にメッセージをお寄せいただくとともに、県内の公共施設や大規模施設にもメッセージ募集用紙と回収箱を配架してこの活動に取り組んでいます。また、ホビーショーやB級グルメ、Jリーグの試合など多くの来場者が見込まれるイベント等において募集活動を精力的に実施しています。

続々と集まるメッセージに対し、つなぐ会の事務局は、「富士山を想う気持ちが、富士山を未来へ継承していく後押しとなります。7月～8月にかけてメッセージ募集キャンペーンを実施しますので応援してください。」と語ってくれました。



5月21日「B級グルメinエコパ」において募集活動を行いました。

「WE LOVE FUJISAN 3776メッセージ」募集中!!

●新たなキャッチフレーズが決定!!「WE LOVE FUJISAN 3776メッセージ」

●インターネットから簡単にメッセージの入力が出来ます!!

①メッセージ入力「らぶふじ フォーム」で検索してアクセス又は

「<http://www.3776fuji.net/message/index.html>」を直接入力してアクセス

②簡易送信フォームに入力後、送信

●メッセージ及び名前は文字入力、性別、年代、都道府県については、選択入力

●バナーの貼り付けに御協力ください!!

あなたのホームページに是非右上のバナーを貼ってください。希望される方は世界遺産推進課まで御連絡ください。



「WE LOVE FUJISAN 3776メッセージ」募集キャンペーン展開中!! 詳しくは

↑ **メッセージ送信用紙** [必要事項を記入の上、そのままFAXしてください。] ↑

FAX 054-255-4480

お名前			
住所	都道府県	市町村	

個人情報は、「美しい富士山を未来へつなぐ会」の目的のために使用し、他の目的には使用しません。

メッセージご記入欄

(記入例) ●富士山の美しさを永遠に… ●富士山の世界文化遺産登録を応援しています。

発行 静岡県文化・観光部 文化学術局 世界遺産推進課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 <http://fujisan-3776.jp>
TEL.054-221-3746 FAX.054-221-2980 e-mail sekai@pref.shizuoka.lg.jp